

気づきの学校



特定非営利活動法人アースワーカーエナジー
理事長 小原 淳 氏

教育随想

時を経て歳を重ねて、あの頃こんな経験をしておけば良かった、学んでおけば良かったと思う事は誰しもが多々あること。そのような中、「気づく力」を子供のうちから養っておくことの意義を覚えます。

今日、教育は高次元化、情報ツールの発達等により高い頭脳と情報の中、知識を得ることができるようになってきましたが、自らが置かれていた状況、環境の中で自分は、「今、何をすべきか」「何が大切であるか」の答えと行動が伴わないケースが多々見受けられます。私は幾つもの団体、会社組織の代表をしています

が、「決めてくれないと困る」との声をよく耳にします。基本は、全ての一人一人が自分の意見を発し、議論をし合う中に民主的でより良い答えが見えてくることと考えますが、議論しにくい社会であり、「誰かが決めてくれた方が楽」と言った社会的風潮は、未だに蔓延していることを感じます。

又、最近頓に思うところに、日本の「おまけ文化」があります。私の子供の頃キャラメルに「おまけ」がついて箱が大きくなった記憶があり、この頃が始まりではと。私はおまけは要らないから、キャラメルを増量してほしいと思っていました。



(おばら あつし)



令和5年5月1日
5月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
特定非営利活動法人アースワーカーエナジー
理事長 小原 淳 氏
- この人に聞く…………… 2
紳士服仕立職 外山 勝利 氏
- 羅 針 盤…………… 2
社会科指導員 安井 文一
- ふれあい…………… 3
矢作南小学校
教諭 海藤 健児
- 特 集…………… 4
岡崎城を巡る ～学びの糸口を探して～
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8
プールの完工式(昭和49年)
- この本を…………… 8



『とっておきの一着』を

紳士服仕立職 外山 勝利氏

「現代の名工」を受賞するまでの道のりを聞かせてくださいー

中学校を卒業後、父親が洋服店を営んでいたこともあり、父親と同じ仕立職人になろうと決めました。父親の「外飯を食って学べ」という言葉を受けて、名古屋のテーラーで修行をしながら職業訓練校や裁断学校に通い、学びました。六年ほど修行したのち既成服の会社へ入り、工場の立ち上げに携わりました。その後、志していた仕立職人になろうと思い、岡崎に戻ってきました。

父親の洋服店の一部を間借りしたものの、「自分のお客様は自分で探せ」と言われ、お客様を探すことから始めなければなりません。その当時は、スーツを一着作るのに給料二、三か月分が必要なほど高価なものであったので、スーツを注文してくれるお客様を探すのは本当に大変で

した。百軒まわって一人お店を訪ねてくれるというような感じです。そうして続けていくうちに少しずつお客様が来てくれるようになりました。中には何年も経って「何度も訪ねてきてくれたのに、あの頃は余裕がなくて作ってあげられなかった。今お願いするよ」と来てくださったお客様もいました。父の店をそのまま受け継ぐのではなく、自分で一人お客様と関係を築いてきました。それが長く続くお客様とのご縁につながっているのだと思います。

受賞の知らせを聞いたときは、大変驚きました。お客様の要望に合った、かっこよくて着やすいスーツを作ろうと地道にやってきました。受賞につながったと思っています。

仕立職人としてのこだわりは何ですかー

オーダーメイドスーツは全て一から手作りで製作するフルオーダーイメージすると思いますが、そうすると一か月で四着から五着を作るのが限界です。一着あたりの価格もとても高くなります。そこで私は、全て手作りのものだけでなく、服作りの工程を工場に任せて作るオーダーメイドスーツも作っています。

まずは、来店されたお客様のご要望を一つ一つ聞いていきます。襟の形、ボタンの数やデザイン、裏地の柄やステッチの色まで自分好みに決めることができます。既製服ではできないこだわりを忠実に表現できます。そして、採寸やフィッティングを

して型紙を決めます。工場へ発注する場合には、細かい数値まで指示し、裁断や裁縫を依頼します。そして、工場から納品されたスーツを、さらに数ミリの単位で修正するために糸をほどこいて縫い直します。途方もない作業だと思いますし、こんなことは自分以外に誰もしていないと思います。でもこの作業をすることで、動きやすい、お客様の要望にぴったり合った、とっておきのスーツを完成させることができます。

「スーツ作りにおける情熱の源は何ですかー

私は、四十年前から変わらず、お客様のために丁寧に「とっておきの一着」を作り続けてきました。そのスーツが人とのつながりを築いてくれています。親御さんから紹介された若い世代のお客様がスーツを注文してくれられます。またそこからつながりが広がります。成人式、卒業式や入学式、就職活動など人生の節目に着るためのとっておきの一着を私に託してくれると思うと嬉しいですね。

世代を超えて関係が広がっていくことはありがたいが、素敵な仕事だと感じています。そんなお客様がいる限り、これからも大切に作り続けていきたいと思っています。



氏名 外山 かつとし
生年月日 昭和十九年十一月六日
住所 岡崎市伝馬通



社会を創る

社会科指導員 安井 文一

社会科授業の本質的なねらいは、社会を創る担い手を育むことに他ならない。担い手となる子供が「社会的現象の見方・考え方」を働かせることで「深い学び」を得る授業を実現したい。そのための教師の手だては、①教材開発、②学習課題設定の工夫、③対話的な学習における効果的な出、であると考える。

A教諭は、小学校五年生「くらしを支える食料生産」の単元を教材研究する中で、学区では食料品店が減少していること、そこには安価な外国産農作物の流入や原料の高騰に対する店主の苦労や努力があることに目をつけた。そこで、日本の食料生産の現状について追究することにより、自分たちの食卓を支える食料生産の今後の在り方に迫ることができると考え、教材化して授業をした。

国産・外国産の食料の比較により、価格の差に違和感を抱いた子供たち。外国と比べて考えることで、土地の広さや技術が価格に影響を与えるという事実、日本の自給率低下や後継

学区の未来のために

矢作南小学校

教諭 海藤 健児



「ここには、たしかに自然はあるけど、他に何も無い。つまらない。都会の方がいい。」

五年生のAさんは、「学区の自慢できること」について、ためらうこともなくそう発表した。三年生のときに引越してきたAさんが、学区のよさをあまり感じることなく過ごしてきたのだという事実が愕然とした。自然豊かなこの学区は、田んぼが多く人と人のつながりも温かい。そのような学区のよさを総合的な学習の時間「米作りを通して、ふるさととの未来を考えよう」の学習の中で気づかせたいと思った。

田植え体験後、調べ学習を進めていたある日、Aさんが「次の授業は総合か、つまらないな」と、うつむいて言った。田植え体験であんなに大はしゃぎしていたAさんから出た意外な言葉だった。「どうして。お米ができるの楽しみだろ」と返すと、「調べてるばかりでつまらない」と、はっとさせられる答えが返ってきた。田植えは、楽しい体験ではあったものの、学区のことをもっと知りた

いという探究活動の動機づけにはなっていないからなのである。

Aさんにもっと学区のものや人と深くかかわらせたい。そして、自分の住む学区には多くの魅力ある人やものがあることを自慢に思うようになってほしいと思った。

「我が家のお米調査」をする中で、Aさんは「最近はお米をミネアサヒを買っているみたい。先生、ミネアサヒって幻の米らしいよ」と興奮気味に伝えに来た。「よく調べたね。でも、どうしてミネアサヒが幻のお米なの」と問い返すと、「それはわからない」と困った様子だった。「そうか。じゃあ、なんでお母さんは、ミネアサヒにしたのかな」と聞くと、「近所のおじいさんが作っていておいしかったからなんだって」「そうなんだ。そんなお米が学区で育てられているんだね。すごい人だね」

そんなやり取りをした数日後、Aさんは「ミネアサヒは、この辺りしか作られていなくて、他であまり売られていないおいしいお米だから幻なんだって」と得意気に報告してきた。Aさんが興味をもった調べてきたことがうれしくて「よく調べたね。自分でおじいさんに話を聞きに行ったの。すごいじゃないか」と声をかけた。ところが、浮かない様子で「でもない、おいしいお米を作っても、儲からないから大変なんだって」とつぶやいた。「おいしいのになんで儲からないのかな」と投げかけると、じっと考えているような様子だった。

学級では、ミネアサヒの米農家の方に話を聞く機会を設けた。「ミネアサヒがなくなるかもしれない」という友達の意見から、Aさんは「私た

ちに何かできないかな」と友達に投げかける姿があった。

十一月、春に自分たちで田植えをしたミネアサヒを収穫し、話し合いをした。Aさんは「多くの人に、おいしさを知ってもらえれば、ミネアサヒが有名になって農家の収入が増える」と発表した。Aさんの考えは称賛され、これがフリーマーケットへ参加する目的の決め手となった。Aさんはみんなから賛同されたことに戸惑いながらも満足気に椅子に座った。わたしもこちらを向いたAさんに頷いた。Aさんが、学区の人や米を守ろうと動き出そうとしていることに手応えを感じた。

フリーマーケット当日、Aさんの手には、のぼりとチラシが握られていた。そこには、学区自慢のミネアサヒのよさがしっかりとアピールされていた。「ここにしかない幻のお米です。もっちりしてぴっぴかのお米です。甘くておいしいですよ」と大きな声で呼びかけるAさんの姿があった。ミネアサヒのよさをアピールするAさんが、ふるさとを愛する学区の一員になったように思えた。



者不足等の問題を見いだした。すると、学級全体に「この先、日本の食は大丈夫なのか」という不安感が生まれた。A教諭は、この不安感と共に児童Bの振り返り「日本の食にはまだまだ課題がありそう」の言葉を捉え、「日本の食の課題とは何か」という学習課題を据えることにした。

A教諭は、日本の食の課題に対する追究活動を更に促し、話し合いの場を設定した。家族や店主への聞き取りで得た知識、資料を基にして子供の発言は続いた。A教諭は「自給率」「輸入」「環境破壊」「食品ロス」「後継者と土地」と食の問題を五つの視点で構造化して板書した後、「この中で、解決すべき一番の問題はどれかな」と問いかけた。一番を選ぶには、五つの視点を比較、関連付ける必要がある。その関係性に気づかせようとした。黙考の後、児童Cが「全部だから一番は決められない」と発言した。これをきっかけに、「五つの問題は独立しているわけではない」「食料の問題は関連し合っている」と、問題の構造を発見した。効果的な教師の出である。授業終末では「解決しなければ未来は見えない。何ができるだろう」と問題解決へと動き始める姿があった。

未来の社会を創るのは子供たちである。子供が社会的現象と向き合い、よりよい社会の実現に向けて自分の生き方を探ろうとする、そんな社会科授業を目指したい。



▲ 遺訓を支える竜生九子の鼻貞

岡崎公園の入り口である大手門をくぐる。すぐに瓦屋根のある塀にぶつかった。敵がすぐに攻め込めないよう曲がり角を作っているのだ。そして、瓦屋根の三葉葵は、葵の御紋と違って、葉脈がない。これは、家康が最初に考案した三葉葵(1)である。財政が豊かな頃のものは、凝った装飾が施されているそう。岡崎に残るものを探してみると、大樹寺の三葉葵は、葵の葉も大きく葉脈が流れている。財政が豊かな頃のものと分かる。観光案内所横の瓦屋根に、本多家家紋「立ち葵」を見つけた。ながら進むと、二つの銅像が見える。家康公は、方角に強いこだわりがあった。だからこそ、どちらも同じ東、江戸を向いている(2)。方角へのこだわりは、大樹寺と岡崎城を結ぶビスタラインからも分かる。からくり時計を横目に脇道に入ると、岡崎城の後ろ姿が見える。そこには、廊下橋がある(3)。曲輪で敵兵と交戦したのち、素早く天守に戻ることもできる橋である。城の石垣に鏡石を見つけた。鏡石とは、城主の権力を目に見える形で示すため、石垣に配置した大きな石である。岡崎城の鏡石は、大人よりも大きいものだった。細い階段道を下り、伊賀川沿いを歩く。家康が最初につかたとされる産湯の井戸(4)、家康生誕の坂谷邸の跡地(5)、(その緒(えな)が奉納されたとされるえな塚(6)が並んでいる。家康公が確かにこの地で産声をあげ、幼少期を過ごしたということが感じられる。天守を目指して石垣の間を通る。この石垣は、「埋門(うずみもん)」(7)という。埋門には、敵兵の侵入と共に楼閣を壊して埋めてしまうという仕掛けがあった。石垣をよく見ると四角いへこみがある。それは柱が渡されていた跡である。ここがまさに最後の砦だったのだ。天守閣に到着すると家康の遺訓に目が留まった。遺訓は、亀のような生き物に背負われている。聞けば、それは亀でなく、孔子の竜生九子、鼻貞(ひき)という名の竜の子供なのだという(8)。

我々にとって馴染み深い岡崎城には、まだまだ知らない歴史や逸話が眠っている。子供たちと共に岡崎城を歩き、探究心を揺さぶってみてはいかがだろうか。



▲ 本多家家紋「立ち葵」

▲ 大樹寺の屋根瓦にある三葉葵

▲ 家康考案の三葉葵



▲ 大きな鏡石と天守へとつながる廊下橋



▲ 江戸を向く元康像（左）と家康像（右）



▲ 巨大な鏡石



▲ 家康公がつかった産湯の井戸



▲ 家康が産声を上げた坂谷邸跡



▲ 家康のへその緒が眠るえな塚



▲ 石垣の上に崩れる仕掛けがあった埋門



●表彰関係

- ◆2023カヌースプリント
ジュニア海外派遣選手選考会
○U15男子カナディアン一人
乗り10000m
優勝 新香山中 水野 駈
- ◆第8回 全国ミズノカップ
ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会
○女子団体の部
出場 常磐中
- 女子個人の部
出場 常磐中
- ◆第23回東海ブロック中学生
バレーボール新人大会
○男子中学生の部
3位 矢作中
- ◆第16回声楽アンサンブルコンテスト全国大会
○中学校部門
銅賞 竜海中
- ◆第35回中部日本個人・重奏コンテスト
(中学校部門)
【東海大会】
○管打八重奏
銅賞 矢作中

- 混成八重奏 銀賞 矢作中
- 【愛知県大会】
○コントラバス独奏 金賞(東海北陸大会に進出)
翔南中 大野 舞子
- 管打八重奏 金賞(東海北陸大会に進出)
矢作中
- 混成八重奏 金賞(東海北陸大会に進出)
矢作中
- (小学校部門)
【愛知県大会】
○フルート独奏 金賞 城南小 佐藤 佑奏
- フルート三重奏 金賞 竜美丘小 飯田 真優
- トランペット三重奏 金賞 竜美丘小 白石 麻衣
- ホルン独奏 金賞 竜美丘小 田村 真麻
- アルトサクソ独奏 金賞 竜美丘小 下里 桜子
- テナーサクソ独奏 金賞 竜美丘小 多田 望羽
- ◆第9回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール
○中学生の部
厚生労働大臣賞 安達 光枝
- ◆第34回読書感想画中央コンクール
○小学校高学年の部
奨励賞 市橋 佑紳

●令和五年度校長会役員

- | | | | | | | | | | |
|--|---|--|----------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| ◆全国学校図書館POPコンテスト
本への愛情が伝わるPOP賞
常磐中 南山 果穂 | ◆第36回感動作文コンクール
○小学校低学年の部
佳作 三島小 杉山 巧樹 | ◆第29回新聞切り抜き作品コンクール
○小学生の部
中日大賞 大類 優花 | ◆第66回全国学芸サイエンスコンクール
学校奨励賞 大門小 | ◆令和五年度校長会役員
○小学校校長会
会長 加藤 有悟(南 中)
副会長 石原 真吾(大門小)
清水 良隆(矢西小)
小田 哲也(新香山中)
内山彩由実(恵田小)
伊澤 勉(六美中)
牧野 守(井田小)
児玉 洋行(竜海中)
磯村 彰久(福岡小)
山内 貴弘(矢作中)
岩瀬 竜弥(竜美丘小)
山本 則夫(城北中)
岡 秀之(羽根小)
中西 勉(男川小)
鈴木 勝久(岡崎小)
柴田 知子(三島小)
保田 眞美(山中小)
石川 恒彦(細川小)
坂元 干城(大樹寺小) | ○中学校校長会
会長 小田 哲也(新香山中)
副会長 伊澤 勉(六美中)
会計 竹平 真仁(矢北小)
庶務 岩瀬 竜弥(竜美丘小)
庶務 牧野 守(井田小)
会計 犬塚 健一(小豆坂小)
会計監査 内山彩由実(恵田小)
副会長 清水 良隆(矢西小)
石原 真吾(大門小) | ○小学校校長会
会長 石原 真吾(大門小)
副会長 清水 良隆(矢西小)
寺坂 信久(翔南中) | ○中学校校長会
会長 小田 哲也(新香山中)
副会長 伊澤 勉(六美中)
会計 竹平 真仁(矢北小)
庶務 岩瀬 竜弥(竜美丘小)
庶務 牧野 守(井田小)
会計 犬塚 健一(小豆坂小)
会計監査 内山彩由実(恵田小)
副会長 清水 良隆(矢西小)
石原 真吾(大門小) | ○小学校校長会
会長 石原 真吾(大門小)
副会長 清水 良隆(矢西小)
寺坂 信久(翔南中) | ○中学校校長会
会長 小田 哲也(新香山中)
副会長 伊澤 勉(六美中)
会計 竹平 真仁(矢北小)
庶務 岩瀬 竜弥(竜美丘小)
庶務 牧野 守(井田小)
会計 犬塚 健一(小豆坂小)
会計監査 内山彩由実(恵田小)
副会長 清水 良隆(矢西小)
石原 真吾(大門小) |
|--|---|--|----------------------------------|--|--|--|--|--|--|

教職員の相談窓口

【対象】 全教職員 【相談内容】 勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

令和4年度 岡崎市教育研究論文 入賞者

■小学校個人の部

最優秀賞

Table with 4 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Entry: 算数 広幡小 里見 涼多 数学的な見方・考え方を働かせる子供の育成

優秀賞

Table with 4 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Multiple entries for various subjects like 国語, 体育, 算数, etc.

佳作

Table with 4 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Multiple entries for various subjects like 音楽, 生活, 国語, etc.

■中学校個人の部

最優秀賞

Table with 4 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Entry: 社会 東海中 太田 信 社会的な見方や考え方を働かせ、仲間とともによりよい社会づくりの力を育てる社会科の授業

優秀賞

Table with 4 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Multiple entries for subjects like 美術, 保健体育, 理科, etc.

佳作

Table with 4 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Multiple entries for subjects like 美術, 数学, 道徳, etc.

■共同の部

最優秀賞

Table with 4 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Entry: 教育全般 大門小 現職研修部 代表 金澤 徹 学ぶ楽しさを実感し、学び続ける子どもの育成

優秀賞

Table with 4 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Entry: 教育全般 東海中 現職研修部 代表 太田 信 自ら未来を切り拓く生徒の育成

(論文入賞者数)

Table with 5 columns: 賞, 最優秀, 優秀, 佳作, 合計/応募数. Summary of award counts for elementary, middle, and combined categories.

佳作

Table with 3 columns: 教育全般, 学校名, 代表. Entries for 梅園小, 竜海中, 北中.



・カ
ツ
ト

羽
根
小
杉
浦
貴
恵

プールの完工式 (昭和49年)

写真提供：細川小学校



昭和四十九年、待ちに待ったプールの完工式が行われた。真新しいプールに、張り切って飛び込む高学年児童たちの姿がある。

本校児童らが、名鉄拳母線細川駅から電車に乗り、大樹寺小学校まで水泳学習に向かう姿は、夏の風物詩でもあった。しかし、なんとか自校で水泳学習をと、いう強い思いを、教員や保護者だけでなく、多くの学区民がもっていたと聞く。その願いは、昭和四十八年名鉄拳母線廃線に伴い、大樹寺小学校への移動手段が失われたことを転機に叶うこととなった。

あれから約五十年。コロナ禍で水泳学習を行えない日々を経験し、学校において水に親しむ機会があることのありがたさを再確認することとなった。生涯にわたり、生きる力を育む学習の充実が、今も昔も求められているのである。

時の流れと共に町の様子は変わっていく。四十年前、岡崎の町に溢れていたテラーは今となっては珍しい存在になった。顧客の声に真摯に耳を傾け、寄り添い、つながり築いてきたという外山さん。私たちも子供たちの思いを大切に受け止め、丁寧に寄り添っていくことで信頼し合える関係を作っていきたい。

ど ホ ツ

水無目



▲祭りに花を添える
オーケストラの音色(城北中)

ツタンカーメン王の墓が発掘され、百年が経った。多くの考古学者が夢半ばで諦めていく中、カーターは、必ず実在すると強く信じていた。

進学・進級をして一か月。新学期に誓った目標に、どれだけ近づけただろう。成功と挫折を繰り返しながら、自分を信じ続けたその先に、明るく輝かしい未来が待っている。



*徳川家臣団の謎
KADOKWA

菊池 浩之
¥1,600

心に残った一文

家康は三備軍制改革で強い軍団を作った

家康公が天下を平定した大きな要因といわれる「恵まれた家臣団の存在」と優れた家臣をいかに育てたかが注視される。「三備軍制」とは、徳川家の井伊、本多、榊原の三家を、城主として特定の地域に縛らず、機動的な軍に配置した、家康公の軍略を指す。また、数多い家臣にあって本多重次、鳥居元忠等、忠義に厚く、家康公のため命も捨てる覚悟のある家臣には、大戦目前の岡崎城や伏見城の留守を護らせている。天下泰平の世を成し遂げるには人を育てる力が必要だったのだ。

学校にあっては学級、学年。そして、家庭。私たちが守るべき城を得たとき、歴史から学ぶことは多い。

*徳川家康家臣団の事典
東京堂出版

煎本 増夫
¥2,800

*徳川家康の素顔
宝島社

小和田泰経
¥1,430

*子孫たちの証言
静岡新聞社

小和田哲男
¥1,760

六ツ美西部小 寺島 真澄